

# 羽ばたけ 大空へ

財団 月報

## 東京オリリンピックと 鹿児島国体の年に

公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団

理事長 風呂井 敬



皆様、あけましておめでとございます。

旧年中は、当財団の運営に對しまして皆様方からの温かいご支援、ご厚情を賜り、心より御礼を申し上げます。

また、昨年の九州北部豪雨、台風19号などの被害により、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々、被災地の一刻も早い復旧・復興を願っております。

さて、当財団は、公益財団法人として、鹿屋体育大学の教育の振興に資

するために必要な助成、体育・スポーツ活動において優れた成績を取った学生及び競技団体に対する奨学金の給付等を行うとともに、同大学における体育・スポーツの振興と競技力の向上に資する事業を展開し、併せてスポーツクラブの育成など地域スポーツの振興並びに国民の健康及び体力の増進に寄与することを目的とした事業を行ってまいります。

今年、子(ねずみ)の年です。新たに十二支が始まるわけですが、子年はオリリンピックの年とも一致します。12年前の2008年は北京での開催でしたが、この時は鹿屋体育大学から4名(在学生1名、卒業生3名)が出場を果たしたところでした。さらには、この1996年はアトランタ(アメリカ)、36年前の1984年はロサンゼルス(アメリカ)、48年前の1972年はミュンヘン(当時西ドイツ)でそ

れぞれ開催されました。また、ご年配の方にはご記憶があるかと思いますが、この年(1972年)は、札幌で冬季オリリンピックが開催されたばかりでなく、鹿児島で国民体育大会も開催された(太陽国体)。個人的にはそれぞれ思い出深いものがあります。

さて、待ちに待った東京オリリンピック開催ですが、同大学からはすでに卒業生1名が代表選手に内定しております(カヌーK4-500m男子)。さらに続く内定者の決定と出場選手全員が大会で活躍することを願っております。

今年、子(ねずみ)の年です。新たに十二支が始まるわけですが、子年はオリリンピックの年とも一致します。12年前の2008年は北京での開催でしたが、この時は鹿屋体育大学から4名(在学生1名、卒業生3名)が出場を果たしたところでした。さらには、この1996年はアトランタ(アメリカ)、36年前の1984年はロサンゼルス(アメリカ)、48年前の1972年はミュンヘン(当時西ドイツ)でそ

れぞれ開催されました。また、ご年配の方にはご記憶があるかと思いますが、この年(1972年)は、札幌で冬季オリリンピックが開催されたばかりでなく、鹿児島で国民体育大会も開催された(太陽国体)。個人的にはそれぞれ思い出深いものがあります。

さて、待ちに待った東京オリリンピック開催ですが、同大学からはすでに卒業生1名が代表選手に内定しております(カヌーK4-500m男子)。さらに続く内定者の決定と出場選手全員が大会で活躍することを願っております。

今年、子(ねずみ)の年です。新たに十二支が始まるわけですが、子年はオリリンピックの年とも一致します。12年前の2008年は北京での開催でしたが、この時は鹿屋体育大学から4名(在学生1名、卒業生3名)が出場を果たしたところでした。さらには、この1996年はアトランタ(アメリカ)、36年前の1984年はロサンゼルス(アメリカ)、48年前の1972年はミュンヘン(当時西ドイツ)でそ

編集・発行／公益財団法人 鹿屋体育大学 体育・スポーツ振興教育財団 〒891-2393 鹿児島市白水町1番地 鹿屋体育大学内 0994-46-4827 (直) 編集兼発行人 風呂井 敬

## オリリンピックの年

国立大学法人鹿屋体育大学 学長 松下 雅雄



新年明けましておめでとうございます。旧年中は鹿屋体育大学を応援、ご支援いただき誠にありがとうございました。本年は子(ねずみ)の年。植物でいえば成長に向かっている時期だと思えます。また、ねずみは子どもをどかんと増やすことから、子孫繁栄の象徴とも考えられます。

令和二年、二〇二〇年は東京で二回目のオリリンピックが開催される日本にとつて大きな節目の年です。そして、この鹿児島でも国民体育大会が十月に開催されます。そのようなことから、今年、鹿屋体育大学にとつて、今後の繁栄に向けて、スポーツ、健康を専門とする大学として教育研究の成果を発揮するときであると考えます。

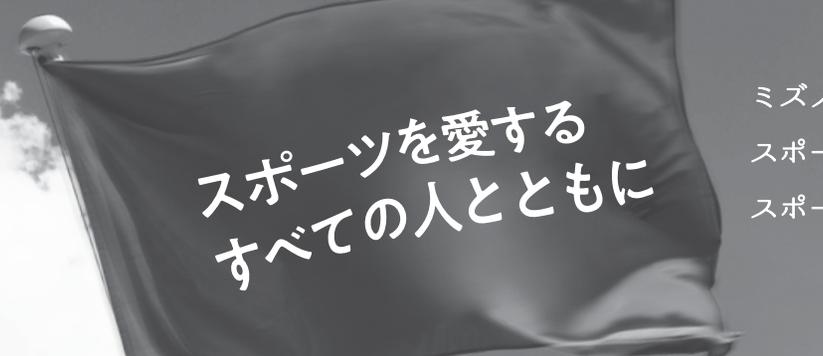
本学では、二〇一四年からオリリンピック・パラリンピック教育の一環として、国際スポーツアカデミーをアジア諸国の将来のスポーツ推進者となる若者を主な対象者として毎年開催し、四十一カ国、百六十二名が修了し、母国で活躍しています。また、二〇一五年から本学にオリリンピック・パラリンピック教育の一環として、国際スポーツアカデミーをアジア諸国の将来のスポーツ推進者となる若者を主な対象者として毎年開催し、四十一カ国、百六十二名が修了し、母国で活躍しています。

また、二〇一五年から本学にオリリンピック・パラリンピック教育の一環として、国際スポーツアカデミーをアジア諸国の将来のスポーツ推進者となる若者を主な対象者として毎年開催し、四十一カ国、百六十二名が修了し、母国で活躍しています。

また、二〇一五年から本学にオリリンピック・パラリンピック教育の一環として、国際スポーツアカデミーをアジア諸国の将来のスポーツ推進者となる若者を主な対象者として毎年開催し、四十一カ国、百六十二名が修了し、母国で活躍しています。

また、二〇一五年から本学にオリリンピック・パラリンピック教育の一環として、国際スポーツアカデミーをアジア諸国の将来のスポーツ推進者となる若者を主な対象者として毎年開催し、四十一カ国、百六十二名が修了し、母国で活躍しています。

わかくこ



スポーツを愛する すべての人とともに

ミズノスポーツ振興財団は、スポーツの振興・普及を目指し、スポーツを愛する人たちを応援しています。

50th ANNIVERSARY

2020年 ミズノスポーツ振興財団は、創立50周年を迎えました。

公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団

# 蒼天祭2019 大盛況!!

11月23(土・祝)・24(日)の2日間、鹿屋体育大学の学園祭「蒼天祭」が開催されました。2日目は朝からあいにくの雨となり、屋外催しの学長杯破魔投げ大会や模

擬店の一部は中止となりましたが、学生たちの明るさや元気がいっぱい盛り上がり、とても充実した蒼天祭となりました。

今年の蒼天祭は「1」をモデルに今年は撮影をプロのカメラマンに依頼するなど、開催前から学

BORDER」がテーマ。学生が毎年制作している告知用のポスターとチラシは、課外活動の部員をモデルに今年は撮影を平垣拓馬さん(武道課程3年)による開会の挨拶

と原口幸大さん(スポーツ総合課程(以下「スポ」総)3年)の司会で始まりました。

2日目のステージは場所を水野講堂に移し、毎年恒例となっている蒼天祭名物「マッスルコン

学生によるリフティングパフォーマンスで盛り上がりました。

2日目のステージは場所を水野講堂に移し、毎年恒例となっている蒼天祭名物「マッスルコン

歌うまコンテストは米



実行委員長 平垣さん



「Mr. & Ms.コンテスト」



蒼天祭名物「マッスルコンテスト」



球舞パフォーマンス



2020応援ソング「パブリカ」を踊ろう



SP研究センターでの見学・体験ツアー



体操演技会



初?!の「バンド演奏」



「なぎなた」の体験



「メダルづくり」体験



子どもたちでにぎわった模擬店

村有造さん(スポ総4年)、ワットバイクチャレンジは、男子バスケットボール部の上野翔護さん(スポ総2年)と女子バレーボール部の白澤明香里さん(スポ総4年)が優勝しました。

24日の正午からはスペシャルイベントとして、テレビや雑誌などのメディアで数多く取り上げられている、サッカーと音楽を融合させた唯一無二のパフォーマンスへと昇華させたフットボールエンターテインメント集団「球舞」CUBERIE」が登壇し、会場は拍手喝采と笑いの渦に包まれました。そのほか大学の教育研究に関するパネル展示、「スポーツパフォーマンス研究センター見学・体験ツアー」や2020応援ソング「パブリカ」を踊ろう、剣道、柔道、マリンスポーツ、セパタクロ、なぎなた、ボッチャの体験会や体操演技会、女子バスケットボール部の応援といった参加型のイベントも開催され、学生と参加者が一緒に楽しむことができました。

学生出店による模擬店では男子バレーボール部のベビーカーセラや硬式野球部のフランクフルト、留学生による串屋、自転車競技部のジュニア販売が人気を集めていました。アスレティックトレーニング部によるのみほぐしも、30分わずか200円で日頃の疲れを癒してもらえるとあって好評を博していました。

2日間わたる学園祭は、豪華景品が当たるビッグ大会で盛況の中お開きとなりました。

自宅・アルバイト先 ← DIRECT! → 自動車学校 ← DIRECT! → 学校・寮

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎 忙しい学校生活の強い味方です!!

★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

心豊かな車社会を願う  
**寿自動車学校**

ご予約・お問い合わせ TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所[技能試験免除]  
ホームページURL http://kotobuki-ds.jp

すべての消費者のために!!

MOVE It's your future  
**寿スポーツ**

BE FIRST

鹿屋市礼元1丁目3番5号 TEL 0994-44-2123

バス 鹿屋市 鹿屋農業高校 R269 寿自動車学校 薬局 イレブン

**寿スポーツ**

汲取の御注文  
浄化槽の管理

水質保全に  
全力投球

鹿屋市許 株式会社 西日本浄化サービス

代表取締役 田中ふみ子  
鹿屋市王子町4531-2  
TEL (0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスかごしま  
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1  
0994-42-2181

# 天津体育学院と 学生交流に関する覚書を締結

11月4日、天津市（中国）の天津体育学院において、鹿屋体育大学と天津体育学院との間の学生交流に関する覚書の締結式が行われました。両大学は2017年9月に学術交流に関する協定を締結し、天津体育学院の田太学長補佐、萬久博敏准教授などの水泳に関する分野の研究者間での交流が活発に行われてきましたが、今回の覚書の締結により、今後は両大学間の学生の交換留学が実施されることとなります。

本覚書の締結式は、天津体育学院において同日より開催された中国国内の高級競泳コーチ講習会の開講式と併せて実施され、天津体育学院からは吉承恕院長、運動訓練科学学院の張志斌書記、李実副書記、鹿屋体育大学からは松下雅雄学長、荻田学長補佐が出席したほか、天津体育局の李克敏党書記、中国国家体育总局游泳運動管理中心の袁守龙游泳部部长も出席する中で実施されました。

今回の覚書の締結により、両大学間の交流のさらなる活性化が期待されます。



# 令和元年度外国人留学生支援交流会を実施

鹿屋体育大学では11月28日、令和元年度留学生支援交流会が実施されました。

第1部の日本文化への理解を深めることを目的とした日本文化体験には留学生9名と日本人学生2名（チューター、交換留学予定者）が参加し、華道池坊の下出水真由美氏を講師にお迎えした生け花を体験。留学生たちのほとんどが初めての生け花ということもあり、剣山、花器、生け花用はさみなどの使い方説明から始まりました。最後にはそれぞれの留学生が豊かな感性で思い思いの素敵な作品を完成させました。

第2部の留学生支援交流会は、鹿屋体育大学を支援いただいている関係団体や日頃留学生が世話になっている地域住民の方々約50名をお招きして開催されました。会場には第1部で生けた生け花の作品が展示され、下水水講師から学生へ生け花を通して日本文化体験の感想やその作品に込められた思いなどについてのインタビューも行われました。



# 九州学生クラシコ開催！ 九州大学サッカーリーグ 鹿屋体大 VS 福大

11月16日、鹿屋体育大学サッカー場において九州大学サッカーリーグ第21節鹿屋体育大学対福岡大学との試合で応援イベント「九州学生クラシコ」が行われました。イベントはスペイン語で「伝統の一戦」を意味するサッカーのスペインリーグ、レアルマドリッドとバルセロナの試合「クラシコ」になぞらえて付けられ、鹿屋体育大学のサッカー部が中心となつて九州の大学で2強となつている同大と福岡大学の試合観戦を中心とし、さまざまなイベントを企画しました。

試合は約500名の観客が見守るなか11時にキックオフ。一進一退の展開の中、後半終盤に一瞬の隙を突かれ鹿屋体育大学が失点。その後得点のチャンスもありましたが惜しくも0-2で敗戦となりました。悔しい結果となりましたが、ゴール前の攻防では観客席からひととき大きな歓声が上がるときも多くの方が試合観戦を楽しんでいました。

また、移動販売や大隅地区の小中学生サッカーチームの前座試合、リフレの記録にチャレンジする



多くの観客が見守りました

コラボダンス♪

# ペーソボールフェスタを開催！

11月30日、鹿屋体育大学スポーツパフォーミングセンターで「大学監督会野球普及活動」として「第1回鹿屋体育大学ペーソボールフェスタ」が鹿屋市内の園児を対象に開催されました。

この普及活動は、従来深く関わることがあまり好ましくないとされる公益財団法人日本学生野球協会及び加盟校と日本野球機構及びNPB12球団が「いまからスポーツを始めるような子どもたちに野球の楽しさを伝えたい」とタッグを組んだもので、今回は福岡ソフトバンクホークスから帆足瑞季氏（元投手）と田中幸氏（元内野手）が訪れ、同大学野球部員がサ



# 課外活動団体紹介



男子バスケットボール部

私たちが男子バスケットボール部はインカレ出場に向けて日々練習に取り組んでいます。練習は、月、火、木、金、土の週5日です。筋力トレーニングも練習の後に毎日行っています。練習の雰囲気はとても良く、部員全員が声を出し、一人一人が主役となって活躍しています。

練習では、部員がお互いに積極的に意見交換を行い、チームがさらに良い方向に向かっていくようにアドバイス合っています。そうすることで、仲間の良いところや改善すべきところをいち早く気づくことができ、それが相手チームを分析する能力の向上にも繋がっています。最近の結果は目標である全国大会には出場できておらず、九州1部リーグでもなかなか結果を出せていません。しかし、それでも誰も腐ることなく目標の達成に向けて泥臭く勝利のために貪欲になって努力を続けています。そこが私たちの強みだと考えて

います。誰も自分の能力に自惚れることなく、努力をすることができる人間です。

男子バスケットボール部では、人間性の育成にも力を入れています。それは私たちのチームの理念である愛し愛されるチームにも起因しています。積極的に地域の活動や審判活動に参加し、地域を盛り上げるために尽力しています。地域との関わりを深めることで地域の方々が私たちの試合を観戦しにきてくださり、それが私たちの原動力になっています。

今季は春の大会では3位以上、リーグ戦でも3位以内に入りインカレ出場を目指しています。そのためには今よりもさらに努力し、応援されるチームになる必要があります。これからも日々の取り組みを大切に、自分たちの目標の達成に向けて励んでいきたいと思っています。

応援よろしくお祈りします。

心にしみる...

鹿屋島焼酎

**小鹿酒造株式会社**

鹿児島県鹿屋市吾平町上名7312番地  
TEL0994-58-7171 FAX0994-58-8363  
http://www.shochu-kojika.jp

お酒は 20歳を過ぎてから。

企業説明会用ブース

Before After

変わる！魅せる！

**ディスプレイで(差)がつく!!**

★会社イメージの向上 ★スムーズな営業 ★統一感でさらなる魅力アップ

ビューマン印刷に変わる

**株式会社 新生社印刷**

URL https://www.shinsei-p.co.jp 鹿児島県鹿屋市礼元1-22-34  
E-MAIL kan@shinsei-p.co.jp TEL 0994(43)2238(代)

「視覚」「触覚」が「記憶」に残る

視覚と触覚で感じる

**SUGOHAKU** × **薄紙**

【厚感デジタル加飾システム】 -KIRAMEKI-

パッケージ、パンフレット、ポスター-etcに、ご利用いただけます。

印刷物へ新たな付加価値を

# 鹿屋体育大学OGターニャさん 剣道防具を母国エクアドルへ

11月27日、鹿屋体育大学水野講堂においてエクアドル剣道普及支援プロジェクトの剣道防具等を送る式が行われました。この発送式は同大学OGのゴメス・アラウホ・ターニャ・ステファニアさん（H30・3修了）が母国エクアドルに剣道を普及させようと在学中から行っていた活動を鹿屋ロータリークラブが支援する形で実現したもので、約1年間かけて防具30セットと袴や垂など7箱分が鹿児島県内各地から集まりました。

鹿屋ロータリークラブの遠矢治会長は「昨年から計画的に行われた国際



に関するプロジェクトが今日1つ終わられることをとてもうれしく思います。鹿屋体育大学の学生をはじめ防具等を送ってくださった皆様、このプロジェクトにかかわった皆様に感謝いたします」と述べました。ターニャさんは「エクアドルでは経済的な理由で防具を持つていない人はあまりいないので、送った防具を大切に使用してほしいと思います。わたしの夢が1つ叶いました。ありがとうございました」と笑顔で語りました。

## 海洋スポーツセンター

### 協力者会議を開催

鹿屋体育大学は12月2日、鹿屋市教育委員会をはじめ大隅地域の行政・教育関係機関や県内の海洋スポーツ関連企業等からの出席のもと、海洋スポーツセンター協力者会議を開催しました。同会議は、海洋スポーツセンターが行う海洋スポーツに関する教育研究活動に對して、専門的知識を有する学識経験者及び競技経験者から広く意見を求め、今後の教育研究活動の進展に役立てようと、毎年開催しています。

会議では「現代日本社会における海洋スポーツの重要性」と題し、海洋スポーツに関する教育・

社会貢献の推進の事例発表が、静岡県立三ヶ日（みつかび）青年の家（城田守氏）から行われ、関係の形成方法などについて協議されました。



## 竹中健太郎准教授 文部科学大臣賞 「スポーツ功労者」受章

鹿屋体育大学スポーツ・武道実践科学系の竹中健太郎准教授が、文部科学大臣より「スポーツ功労者」として顕彰され、このたび同大学においてその功績を賞し「特別表彰」が授与されました。「スポーツ功労者」は3年に一度開催される国際剣道連盟主催の「世界剣道選手権大会」の平成29年9月に行われた第17回大会において、コーチとして女子代表の指導にあたり日本女子団体チームを優勝に導いた竹中准教授の功績が讃えられたものです。竹中准教授のスポーツ功労者受賞は4回目、特別表彰は前回大会時の表彰に続き3度目となりました。

表彰式において松下雅雄学長から「ご本人はもちろん、本学にとっても



## SP研究センターで児童との交流プログラムを実施

11月16日、鹿屋体育大学学生教職員と鹿屋市・大隅地域の児童と指導者・保護者との交流プログラムがスポーツパフォーマンス研究センター（以下「SP研究センター」）において行われました。このプログラムは同大学の竹下俊一教授が中心となって企画し、鹿屋市児童保育連絡会とおおすみ児童の会とともに実施したもので、当日は約100名の児童と指導者が参加し、学生によるセバタクロの試合観戦やスポーツ科学体験、枕投げゲームなどを通して交流しました。

セバタクロの試合観戦では、試合を行う学生に大きな声で声援



を送り、得点が入ると歓声があがるなど初めてのセバタクロ競技を観戦を楽しんだ様子でした。続いて行われたスポーツ科学体験では、本学学生がサポートをしながらスピードガンで投球速度の計測、赤外線を使った30m走のタイム測定や学生とのPK対決などをSP研究センターの敷地をいっしょに歩いて体験しました。最後の枕投げゲームでは回を増すごとに白熱した試合となる中、珍プレー

## 学内行事 (令和2年2月)

- 1日 公開講座「バレーボール・ウィンター・キャンプ」(~3日)
- 5日 期末試験(~12日)
- 13日 競技成績報告会
- 14日 サークルリーダーズセミナー
- 25日 一般入試・私費外国人留学生入試(~26日)
- 27日 東京SC公開講座「歩く脳トレ運動~スクエアステップ~」

## 闘いの記録 11月

- ◆第69回九州地区大学体育大会 (11/30 福岡/福岡武道館)
  - ▽男子 団体 1位 鹿屋体育大学
  - 【剣道】
  - ◆第38回全日本女子学生剣道優勝大会 (11/10 愛知/春日井市総合体育館)
    - ▽女子 団体 3位 鹿屋体育大学
    - 【なぎなた】
    - ◆第44回西日本学生なぎなた選手権大会 (11/17 大阪/東大阪市立総合体育館)
      - ▽女子 試合競技(個人の部) 1位 春山 りんか 3位 神山 愛姫 4位 上間 朱梨
      - 試合競技(団体の部) 2位 北、三浦、田口 4位 上地、春山、安次嶺
      - 演技競技 3位 北、三浦
      - ※は他団体選手との出場を示す
  - ◆第26回全九州大学バスケットボールリーグ戦 (11/2~3 福岡/日本経済大学体育館)
    - ▽女子 団体 2位 鹿屋体育大学
    - 【サッカー】
    - ◆U-21国際サッカートーナメント2019 (10/30~11/5 ベトナム/ダナン市)
      - ▽男子 U-20全日本大学選抜 2位 根本※
      - 【柔道】
      - ◆2019年度講道館杯全日本体重別選手権大会 (11/2~3 千葉/千葉ポートアリーナ)
        - ▽男子 60kg級 3位 福田 大悟

## 闘いのスケジュール 2月

- 1日 第40回九州カップ水泳競技大会 (~2 福岡/福岡市立総合西市民プール)
- 6日 令和元年度九州学生室内テニス選手権大会 (~13 福岡/博多の森テニス競技場室内コート、福岡大学他)
- 7日 きららカップ2020 (~9 山口/山口きらら博記念公園水泳プール)
- 15日 第36回コナミオープン水泳競技大会 (~16 東京/東京辰巳国際水泳場)
- 28日 2019年度全日本学生ボードセーリング選手権大会 大学対抗戦 (~3/2 和歌山/和歌山セーリングセンター)

## 令和元年度 卒業証書・学位記授与式のご案内

### 卒業証書・学位記授与式

日時: 令和2年3月24日(火)10時30分~12時00分  
会場: 鹿屋体育大学水野講堂

### 卒業生等懇談会

日時: 令和2年3月24日(火)12時20分~13時10分  
会場: 学生会館学生食堂 (鹿屋体育大学内)  
主催: 国立大学法人鹿屋体育大学  
(公財)鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団

## 鹿屋体育大学卒業生の皆様へ

本紙は主に在校生の活躍や母校における行事等を掲載しておりますが、卒業生のご活躍も掲載可能です。(紙面の都合により掲載できない場合もございます。)ぜひ全国各地でご活躍されている先輩方の情報も発行元又は大学広報係までご連絡ください。

また、卒業時に届けられたお名前、住所やアドレス等に変更生じた方は、ご連絡ください。

今後とも本財団及び鹿屋体育大学をよろしく願いたします。

ありがとうございます  
賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。心から感謝申し上げます。  
《一般》  
カイコー(株)様(三万円)